

仕事の中に「感動」を！（21）

～ “社会見学”を通じて ～

◇社会見学

私は、「京都中小企業家同友会」（<http://www.doyu-kyoto.or.jp/>）という地元の経営者団体に所属しています。その中で「経営労働委員会」という組織に所属しているのですが、その委員会では“社員共育”を活動の柱に据えています。その一環としまして、会員企業の“社員共育”の現場を取材して、機関紙（2ヶ月に1回発行）に取り上げています。

私がおその取材記事の担当になって、4年半ほどになります。普段、会社の外でお会いするのと違い、その会社の現場を見る事ができ、会社における“生の経営者の姿”を拝見できるということは、私自身の勉強になります。言うなれば、大人になってからの“社会見学”であり、私も毎回の取材をととても楽しみにしております。（ただし、メ切までに原稿を仕上げないといけないというプレッシャーとの闘いは、この inswatch と同じく大変ですが…。）

◇A社との出会い

飲食店を経営されているA社のMさん（社長夫人）との出会いも、その取材を通じてでした。今から1年前の取材でしたが、明るいお人柄のMさんのお話は面白く、興味深い内容でした。同友会の事務局の方と二人、取材の途中で何度もお腹を抱えて笑いました。取材が終わるとMさんから、「岡武さん、実は『保険』について相談したいのですけど。」と切り出されました。（取材時に「保険」を前面に出すことはありませんので、取材を通じて保険の相談を受けたのはこれが初めてでした。）

お話を伺うと、店舗をいくつも展開されているのですが、「現在の代理店さんでは、『火災保険』『店舗休業保険』『賠償責任保険』などバラバラにかけられており、漏れなく、合理的に加入しているかどうか分からない。」ということでした。また、「『生命保険』についても、知り合いの営業職員さんから入っているのですが、弊社のニーズに合致しているかどうかアドバイスをお願いしたい。」というものでした。

その場では、現在のご加入の内容を確認させて頂き、後日お伺いすることになりました。

◇相談の結果

内容を確認させて頂いた結果、多くの店舗で「生産物賠償責任保険」に加入されていないことが判明しましたので、Mさんにお話しさせて頂きました。Mさんから従来の代理店さんに問い合わせたところ、その方は「誰ですか、そんないい加減なことを言っている人は。間違いなくその補償も入って頂いていますよ。」と回答されたそうです。不安になったMさんは、直接、保険会社に電話をして確認されました。保険会社からの回答は、私どものアドバイス通りでした。その結果、全ての「損害保険」を私どもでご契約頂くことになりました。

その後、「生命保険」についてもアドバイスを行い、お申し込み頂きました。

◇クレーム発生

後日談ですが、A社ではその後、生産物にまつわるクレームが発生しました。いわゆる“クレマー”と言えるような方からの、完全な言いがかりでした。既に『OSS』で「生産物賠償」にもご加入頂いておりましたので、アドバイスを行い、（保険会社の了解を得た上で）弁護士への委任も迅速に行うことができました。Mさんも、とても喜んでおられました。

「的確なアドバイスを頂き、とても助かりました。本当にあの時、岡武さんに取材に来てもらっていて良かったです。」

とおっしゃって頂きました。

Mさんとの出会いを通じて、2つのことを学びました。1つ目は、きちんとした補償を提供することの重要性です。

2つ目は、お客様からの感謝のお言葉は、何物にも代え難い「仕事の報酬」だという実感です。

岡武和暁

保険のOSS代表取締役

京都市山科区音羽前田町52-1

TEL 075-502-8451(コマルニハヨコイ)

okatake@oss-ins.jp